

第1回 川崎市文化芸術振興会議市民ミュージアム部会

日 時 令和4年11月15日(火)
午後2時～午後3時30分
会 場 市役所第3庁舎18階
講堂

次 第

- 1 開会
- 2 委嘱状交付
- 3 館長挨拶
- 4 委員の紹介
- 5 部会長の選任
- 6 議事
 - (1) 令和4年度事業の中間評価及び今後の事業予定について
 - (2) 被災収蔵品の修復活動の状況について(報告)
 - (3) その他
- 7 閉会

資料

- 資料1 川崎市市民ミュージアムの概要及び市民ミュージアム部会について
- 資料2 令和4年度川崎市市民ミュージアム事業報告・評価について
- 資料3 令和4年度川崎市市民ミュージアム事業計画及び中間報告
- 資料4 被災収蔵品の修復について
 - 参考資料1 川崎市文化芸術振興会議規則
 - 参考資料2 川崎市文化芸術振興会議市民ミュージアム部会設置要綱

川崎市文化芸術振興会議市民ミュージアム部会委員名簿

○委員（敬称略：五十音順 令和4年11月15日現在）

いとう たつや 伊藤 達矢	東京藝術大学 社会連携センター特任准教授 とびらプロジェクト・Museum Start あいうえの・マネージャ
いなにわ さわこ 稲庭 彩和子	国立美術館本部主任研究員 新たな博物館、美術館に関する基本構想懇談会委員
ふじしま としえ 藤嶋 俊會	美術評論家連盟会員 元神奈川芸術文化財団学芸員 かわさき市美術展懇談会委員
わたなべ なな 渡辺 奈々	美術作家（デザイナー） かわさき市美術展懇談会委員

資料 1

1 川崎市市民ミュージアムの概要

昭和63年に開館した川崎市市民ミュージアムは、博物館・美術館の機能を併せもち、市民に文化芸術に触れる機会を提供する市内の中心的な施設として、平成30年度には30万人を超える利用者がありました。

しかし、令和元年東日本台風により地階収蔵庫等に浸水被害を受けたために、現在も休館しており、出張形式やオンラインによる展覧会開催や教育普及活動に取り組む一方、被災収蔵品の修復（レスキュー）活動を進めております。

平成29年度から令和3年度までは指定管理者による管理運営を行ってきましたが、現施設は休館により市民利用を休止し、また、ミュージアム機能を再開しない方針としたことから、令和4年度からは本市の直営事業所として管理運営を行い、学芸業務については委託により実施しております。



<施設概要>【休館中】

所在地	川崎市中原区等々力1-2
構造	鉄骨鉄筋コンクリート造
規模	地上3階地下1階
敷地面積	25,358㎡
建築面積	8,386㎡
延床面積	19,542㎡
常設展示室、企画展示室、アートギャラリー、映像ホール等	

2 市民ミュージアム管理運営事業

(1) 目的

本市の歴史資料と美術・映像作品を扱うなど市民から親しまれる魅力ある博物館をめざすとともに、博物館と美術館の機能を併せ持つ公立の複合文化施設として、文化芸術を活かしたまちづくりを推進し、市民の教育、学術等に資するとともに市民相互の交流を通じて、市民の教育、学術及び文化の発展に貢献します。

(2) 事業内容

- ・現施設は休館中ですが、代替施設や市内の文化施設等を活用し、次のような博物館・美術館活動を行います。
 - ・資料・作品の収集保管、調査研究
 - ・市内の文化施設等を活用した展示、教育普及
 - ・市民の文化活動の助長、奨励及び指導
 - ・刊行物及び情報の交換や資料等の相互貸借
 - ・解説書や目録、年報調査研究報告書等の作成及び頒布
- ・現施設の代替施設の設計及び調整を行います。(※)
- ・令和元年東日本台風により被災した収蔵品の修復作業を行います。
- ・新たな博物館、美術館の整備に向けた計画の作成に向けた取組を行います。(※)

(※) については、市民文化振興室が所掌

3 川崎市文化芸術振興会議市民ミュージアム部会について

川崎市文化芸術振興会議は、文化芸術に関する事項の審議や文化アセスメントの実施等を行う本市の附属機関です。同会議の部会として令和4年度に設置された市民ミュージアム部会は、学識経験者の審議を通じて、各年度の事業評価をはじめ、市民ミュージアムの円滑な運営を進めていくことを目的としております。

部会員の定数は4名で、任期は親会議である川崎市文化芸術振興会議の委員に準じます。

令和4年度川崎市市民ミュージアム事業報告・評価について

1 趣旨

川崎市市民ミュージアム(以下「ミュージアム」という。)の活動のさらなる充実を図るため、川崎市文化芸術振興会議の部会である市民ミュージアム部会において、令和4年度のミュージアム事業全般に対する評価を実施する。

2 評価の目的

- (1) ミュージアムの事業全般に対して、外部の学識経験者に客観的かつ多様な視点からの評価を受けることで、ミュージアムの課題を明確化し、運営のさらなる充実につなげる。
- (2) 評価を継続実施することで、中長期的なミュージアム運営の改善につなげていく。
- (3) ミュージアムの事業内容・評価を公表することにより、運営の透明性を高め、ミュージアム事業に対する市民の理解を得る。

3 評価者

川崎市文化芸術振興会議市民ミュージアム部会委員

4 評価方法

令和4年度の実施事業(項目)について、次の(1)及び(2)の評価を実施する。

- (1) ミュージアムによる内部評価(自己点検)として、実施状況・成果等、課題・反省等
- (2) 市民ミュージアム部会委員による外部評価として、意見(評価できる点や課題等)及び評定

※評定 A:十分に達成
B:概ね達成
C:達成に至らず

令和4年度川崎市市民ミュージアム事業計画及び予算並びに中間報告

(11月15日現在)

<目次>

1 展覧会・上映会

(1) 完了した事業

展覧会① のぞいてみよう昔のくらしー昭和から平成へー … 2

展覧会② 「河 あの裏切りが重く」デジタル修復版35mmフィルム プレミア
上映会 … 4

展覧会③ 川崎市市民ミュージアム出張 タヤげ上映会 … 6

(2) 開催中または今後開催予定の事業

展覧会④ 救う過去、つなぐ未来 ―川崎市市民ミュージアム被災後活動報告
巡回展― … 8展覧会⑤ 被災から今、ふたたび ―川崎市市民ミュージアム 修復収蔵品展―
… 9

展覧会⑥ 鉄道開業150年記念展 川崎鉄道三題噺 … 10

展覧会⑦ オンライン展覧会「the 3rd Area of “C” ―3つめのミュージアム―」
… 11

展覧会⑧ 第56回かわさき市美術展 … 12

2 教育普及

(1) 完了した事業

教育普及① すみであそぼう ～みずでえがく、すみのいろ～ … 14

教育普及② さわれるシネマ フィルムでアニメーションをつくってみよう … 16

教育普及③ 親子向け対話型鑑賞および創作活動「家族でつくるアート・
メモリー」 … 18

(2) 開催中または今後開催予定の事業

教育普及④ 市民ミュージアム講座（オンラインセミナー） … 20

教育普及⑤ 史跡めぐり ―夢見ヶ崎 紅葉の道を歩く― … 21

教育普及⑥ オンライン美術鑑賞ワークショップ「言葉で旅するアーカイブ
～目の見えない人と見える人が川崎の風景を語る～」 … 22

教育普及⑦ 社会科教育推進事業 … 23

教育普及⑧ スクールプログラム … 23

3 資料等の調査、収集・受入、研究、修復に関する業務 【実施中】 … 24

4 広報に関する業務 【実施中】 … 24

5 収蔵品の外部利用に関する業務 【実施中】 … 25

6 ミュージアムショップの運営に関する業務 【実施中】 … 25

7 危機管理に関する業務 【実施中】 … 25

8 令和4年度 市民ミュージアム事業費 予算 … 26

1 展覧会・上映会

(1) 完了した事業

【展覧会①】

事業名	のぞいてみよう昔の暮らし—昭和から平成へ—
会 期	令和4年6月18日(土)～8月28日(日)
会 場	川崎市大山街道ふるさと館
コンセプト	<p>現在、普段から何気なく使っている水道・電気・ガス・通信といったライフラインは、今から約90年前まで遡ると、すべての家庭で使えるものではなく、暮らしに必要なことは主に手作業で行うことが当たり前でした。</p> <p>戦後、高度経済成長期を経て、世の中が豊かになってくると、人々の暮らしも大きく変化しました。各家庭にライフラインや電化製品が行きわたり、これまでより家事に手間も時間もかからなくなっていきました。</p> <p>本展では、昭和から平成の暮らしの変化について、各時代の生活道具を通して紹介します。川崎市内で実際に使われていた道具を公開することで、川崎市の歴史や文化への関心を深めていただく機会となれば幸いです。</p> <p>【主なターゲット層】 小学校3・4年生とその家族、高齢者層</p>
展示内容	当館所蔵資料（電気洗濯機、電気冷蔵庫、白黒テレビ等） 川崎市大山街道ふるさと館所蔵資料（ミニミシン、ハエ取り器、毛入り編み棒等） 株式会社日経映像所蔵資料『団地への招待』 約50点（収蔵品30点・借用品20点、資料パネル含む）
関連事業	<p>【当館主催】</p> <p>①「竹のボールをつくろう！」（7月24日（日）） ②「昔のおもちゃで遊んでみよう！」（8月21日（日））</p> <p>【大山街道ふるさと館主催】</p> <p>③講演会「高度経済成長と川崎」（7月9日（土）） ④夏休み小中学生のためのふるさと発見講座「昔の暮らしを調べよう」（8月6日（土））</p>
その他	共催：川崎市大山街道ふるさと館

自己評価
<p><実施状況・成果></p> <p>【来場者数】 3,062人</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観覧者は、ターゲット層である10歳未満の子どもたちが全体の3割を占めました。 ・昔のくらしの様子を紹介する映像資料を上映し、好評でした。
<p><課題・反省等></p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校からの見学希望の問い合わせを受けましたが、解説場所の確保が難しく今回は実施を見送りました。来年度以降も同様の展覧会を開催する場合は、あらかじめ団体見学の可能性を見込み、社会科教育推進事業との兼ね合いや、動線の確認、スタッフの手配等を事前に調整検討する必要があります。 ・大山街道ふるさと館主催の講演会、講座の応募者が定員割れとなりました。来年度以降も開催の場合は、内容及び募集対象、広報の進め方等を協議・検討する必要があります。

<p><外部評価>意見（評価できる点や課題など）</p> <p style="text-align: center;">[A：十分に達成 B：概ね達成 C：達成に至らず]</p>	B
<ul style="list-style-type: none"> ・当初目標の2千人を大きく上回る来場者数となったことは評価できる。 ・会場施設主催の関連事業が定員割れとなった点は課題が残ったと考える。 	



【展覧会②】

事業名	「河 あの裏切りが重く」デジタル修復版35mmフィルム プレミア上映会
会期	令和4年9月2日(金)
会場	多摩市民館 大ホール
コンセプト	令和元年東日本台風によって被災した映画フィルムの中でも、「河」は原版となるフィルムは当館のみに存在し、とくに複製が困難な作品です。 応急処置から修復に至る被災収蔵品レスキュー活動を通じて、ニュープリントとして蘇った貴重な映画作品を、いち早く川崎市民に公開することを目的に、プレミア上映会を開催します。
内容	<p>【上映作品】</p> <p>題名：「河 あの裏切りが重く」 (1967年/モノクロ/35mmフィルム/103分)</p> <p>【主要スタッフ及びキャスト】</p> <p>製作・監督・脚本：森弘太、撮影：高田昭 音響デザイン：一柳慧、照明：村瀬信夫、録音：鈴木康夫 出演：佐藤慶、灰地順、富田公子、原泉、芹川洋、浜村純 ほか</p>
関連事業	
その他	協力：森弘太、国立映画アーカイブ、広島市映像文化ライブラリー 株式会社IMAGICAエンタテインメントメディアサービス 技術協力：有限会社鈴木映画



自己評価
<p><実施状況・成果></p> <p>【来場者数】 199人（事前申込制・無料）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・来場者アンケート（回答数150）によると、全体の6割強の方は「大変満足」または「満足」と回答されました。また、来場者の約4割が70歳代以上の方でした。 ・多摩区内から来場された方が4割強を占める一方、約3割の方が市外からお越しになりました。 ・貴重な作品を見ることができてよかった、今後も上映会を開催してほしいという御意見をいただきました。 ・新型コロナウイルス感染症拡大防止の一環で、QRコードを使った受付・名簿照合を行い、スムーズに進行することができました。 <p><課題・反省等></p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度に入ってから会場調整をしたため、8月の土日での会場確保ができず、平日となりました。そのため、仕事帰りの方も来場できるよう、午後6時30分上映開始、午後8時15分上映終了、午後9時撤収完了と極力遅い時間帯で開催しました。

<p><外部評価>意見（評価できる点や課題など）</p> <p>[A：十分に達成 B：概ね達成 C：達成に至らず]</p>	A
<ul style="list-style-type: none"> ・この映画は、日本中が注目する作品だと思う。 	

【展覧会③】

事業名	川崎市市民ミュージアム出張 夕やけ上映会
会期	令和4年9月17日(土)
会場	等々力緑地 催し物広場
コンセプト	被災収蔵品修復の成果として、処置が完了した作品を市民に見ていただくとともに、映画鑑賞体験を楽しんでいただく機会として、上映会を開催します。動画配信サービスが普及し、映画上映の形式や鑑賞手段が変化してきている現代において、スクリーンで不特定多数と映画を一緒に見るという鑑賞体験は薄れつつある中、野外上映の形式をとることで、より多くの観客が気軽にスクリーンで映画鑑賞を体験できる機会を創出することを目指します。 なお、上映作品については、被災収蔵品レスキューの過程でデジタル化を行った「川崎市政ニュース映画」と、長年多摩区に在住され令和4年4月に逝去した藤子不二雄 [®] 氏原作の「忍者ハットリくん」を選定しました。
内容	<p>【上映作品】</p> <p>(1) 題名：川崎市政ニュース映画（5作品、合計約8分） 制作：神奈川ニュース映画協会</p> <p>(2) 題名：忍者ハットリくん（10作品、合計約70分） 制作：シンエイ動画株式会社 原作：藤子不二雄[®]</p> <p>【入場料】</p> <p>一般：600円 小学生～高校生：400円 未就学児及び障害者（介助者1名を含む）：無料</p>
関連事業	
その他	<p>来場者へのノベルティとして、著作権者の許諾のもと、忍者ハットリくんのオリジナルバッジ及び上映作品のストーリーや登場人物を解説した巻物状のリーフレットを製作・配布しました。（事前予告は行わず、サプライズ形式で実施）</p> <p>協力：国立映画アーカイブ 技術協力：株式会社東真トリニティー、有限会社鈴木映画 広報協力：「映像のまち・かわさき」推進フォーラム</p>



自己評価
<p><実施状況・成果></p> <p>【来場者数】 187人（事前申込制） （内訳）一般77名、小学生～高校生63名、無料47名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・親世代がリアルタイムで観ていた「忍者ハットリくん」を我が子と一緒に見ることができてうれしかったとの御感想を複数いただきました。 ・川崎市政ニュース映画は自分達の住む町の昔の様子を知ることができて面白かったとの御感想をいただきました。 ・「河 あの裏切りが重く」プレミア上映会で導入したQRコードを使った受付・名簿照合を行うことで、日没後の屋外でも受付がスムーズに進行しました。
<p><課題・反省等></p> <ul style="list-style-type: none"> ・台風接近に伴い雨天の可能性があったことから、開催可否の判断に当日朝まで悩むなど、野外上映会特有の難しさがありました。 ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、昨年度に続き事前申込制で当日参加なしとしたため、多少空席が残る結果となりました。 ・来場者アンケートでは、パイプ椅子席だけでなく敷物持参で地面に座れるとよいという御意見もあり、検討課題です。 ・午後7時50分終了だと、幼児にとっては少し遅いとの御意見もいただきました。野外のため日没後でないと上映ができない一方、昨年度は日没が早い10月下旬に開催したところ肌寒かったという反省もあり、今後も最適な時期を検討してまいります。

<p><外部評価>意見（評価できる点や課題など） [A：十分に達成 B：概ね達成 C：達成に至らず]</p>	A
<ul style="list-style-type: none"> ・巻物状のリーフレットは、工夫されており面白かった。 ・忍者ハットリくんと川崎市政ニュース映画を併映することで、それぞれに関心のある層が来場されたと思う。 ・神奈川ニュース映画協会が制作したニュース映画はアーカイブ性・資料性が高く、川崎市が公開の機会を作っていることは素晴らしいと思う。 	

(2) 開催中または今後開催予定の事業

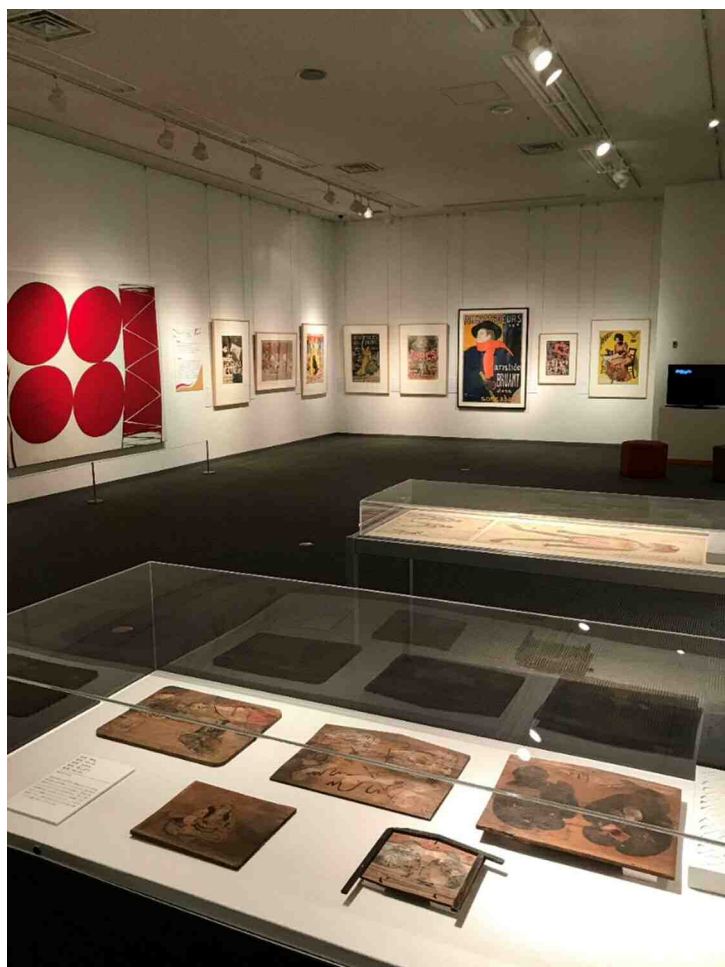
【展覧会④】

事業名	救う過去、つなぐ未来 ―川崎市市民ミュージアム被災後活動報告展―
会期・会場	市内7区を巡回開催。 令和4年 8月16日(火)～8月22日(月) 高津区役所 10月18日(火)～10月27日(木) 市役所第3庁舎 11月2日(水)～11月10日(木) 中原市民館 11月16日(水)～11月24日(木) 宮前区役所 12月2日(金)～12月14日(水) 麻生市民館 令和5年 1月18日(水)～1月26日(木) 幸区役所日吉出張所 1月31日(火)～2月5日(日) 多摩区役所
コンセプト	市民ミュージアムは、令和元年東日本台風により9つの地下収蔵庫全てが浸水し、約24万5千点の収蔵品が被災する甚大な被害を受けました。 施設は休館中ですが、ミュージアム内部では被災直後から設備の応急的な復旧を行うとともに、収蔵品の収蔵庫からの搬出、作品の劣化の進行を食い止める「応急処置」等の収蔵品レスキュー活動を、様々な外部団体の御支援・御協力をいただきながら実施してきました。現在も引き続き、ひとつでも多くの収蔵品を救い未来へつなげるため、迅速な応急処置や、専門家による修復等の活動を進めています。 本展は、昨年東海道かわさき宿交流館で開催した展示を、市内の各区で巡回し、多くの市民に当館の現状を報告するものです。
内容	被災時の状況、被災収蔵品のレスキュー・修復活動、現在出張形式で実施している市民ミュージアムの各種事業について、写真と文章で解説する大型パネル25枚を展示。(会場により枚数を調整)
関連事業	
その他	



【展覧会⑤】

事業名	被災から今、ふたたび ―川崎市市民ミュージアム 修復收藏品展―
会 期	令和4年9月20日（火）～10月8日（土）
会 場	ミュージア川崎シンフォニーホール 企画展示室
コンセプト	令和元年東日本台風によって被災した市民ミュージアムは、引き続き被災收藏品のレスキュー及び修復に取り組んでおります。これまでの成果として、修復が完了した收藏品の一部を市民の皆様に、その処置の過程とともに公開する展覧会です。また、修復に関する様々な技術をパネル及び動画等を用いて紹介します。
内 容	博物・美術の各分野から修復が完了した收藏品（詳細は別紙出品リスト参照）を展示するとともに、修復過程についてのパネル解説や、実際に使用している資器材を展示します。
関連事業	「水損した紙資料の応急処置ワークショップ」 ※10月1日に開催予定でしたが、講師急病のため中止。改めての開催を検討中です。
その他	本展の展示資料をデザインしたクリアファイルセットを製作し、オンラインショップで販売中。



【展覧会⑥】

事業名	鉄道開業150年記念展 川崎鉄道三題噺
会期	令和4年10月1日(土)～11月27日(日)
会場	東海道かわさき宿交流館
コンセプト	令和4年(2022年)は、日本に鉄道が開業して150周年にあたります。川崎市は、国内でも最初に鉄道が通った地域のひとつであることから、本展では、「東アジア初」であり日本で最初に開業した新橋・横浜間鉄道、「日本初」の電鉄である京浜電気鉄道、「東洋一」と称された新鶴見操車場の3つのトピックを主に取り上げ、鉄道の歴史における川崎の重要性や特質を紹介します。
内容	当館所蔵資料のほか、公益社団法人川崎・砂子の里資料館や鉄道会社、個人等に資料の貸出協力をいただき、地図や写真・浮世絵、模型、パンフレット等の貴重な資料約80点を展示します。 第1話 日本最初の鉄道と川崎(1872年) 第2話 日本最初の「電鉄」京浜電気鉄道(1899年) 第3話 「東洋一」の新鶴見操車場(1929年)
関連事業	①史跡めぐり(オンライン)「砂利の多摩川」 (9月2日(金)～3月31日(金)の期間配信中) ②シンポジウム「鉄道旅行の聖と俗」(10月8日(土)) ③ジオラマ製作ワークショップ(10月29日(土))
その他	本展の展示資料をデザインしたポストカードセットを製作し、オンラインショップで販売中。 共催：東海道かわさき宿交流館



【展覧会⑦】

事業名	オンライン展覧会 「the 3rd Area of “C” —3つめのミュージアム—」
会 期	令和4年12月下旬～3月末を予定
会 場	オンライン（市民ミュージアムのウェブサイト上に開設） https://www.kawasaki-museum.jp/thirdarea/
コンセプト	<p>令和3年度に、市民ミュージアムウェブサイト上に「the 3rd Area of “C” —3つめのミュージアム—」をオープンしました。</p> <p>“C”とは、当館の建物を上から見るとアルファベットの「C」の形をしていることにちなんでいます。また、「the 3rd Area（3番目の場所）」には、館内の事業、外部の会場で行うアウトリーチ活動に続く、3つめの活動の場(エリア)にしていきたいという思いをこめました。</p> <p>令和元年東日本台風により被災し、建物を使用できない状況が続いていますが、収蔵品や川崎市ゆかりの作家の作品等をご覧いただくことは当館の使命のひとつであると考えています。</p>
内 容	令和4年度は3種類の展覧会公開を目指し、企画調整中。
関連事業	
その他	

【展覧会⑧】

事業名	第56回かわさき市美術展			
会期	入選作品 令和5年2月23日(木・祝)～3月1日(水) 入賞作品 令和5年3月3日(金)～3月11日(土) 表彰式 令和5年3月4日(土)			
会場	ミュージア川崎シンフォニーホール 企画展示室			
コンセプト	かわさき市美術展(以下、市美展という。)は、昭和42年(1967)から行われている、川崎市の芸術文化活動の振興を目的とした展覧会です。本展では、川崎市に在住、あるいは市内で制作活動をしている人々から作品を公募し、審査の上、入賞及び入選作品を展示することにより、市民が文化芸術活動に主体的に参加し、また鑑賞する機会を広く提供します。			
内容	【部門】 ①平面部門②彫刻・立体造形③工芸④写真⑤書⑥中高生 の6部門 【応募料】 一般：1点 2,500円、2点 4,000円 中高生：無料 【表彰】			
	対象	賞	授与品	
		最優秀賞	6部門を通じて1名	賞状、賞賜金30万円
	一般	優秀賞	5部門を通じて4名	賞状、賞賜金10万円
		奨励賞	5部門を通じて8名	賞状、賞賜金1万円
審査員特別賞		5部門を通じて若干名	賞状	
中高生	コミュゼ川崎大賞	1名	賞状、副賞(図書カード)	
	優秀賞	5名	賞状、副賞(図書カード)	
	市民賞	入選作品から来場者投票により決定	賞状	
参考 令和3年度の応募・入選入賞作品数				
応募者数	応募作品数	入選入賞者数	入選入賞作品数	
245	315	111	113	

<p>関連事業</p>	<p>オンラインセミナー（視聴無料）</p> <p>①「拓本の魅力」 https://www.kawasaki-museum.jp/event/26097/</p> <p>②「古代文字ってなんだろう」 https://www.kawasaki-museum.jp/event/26098/</p> <p>いずれも講師は書芸術、拓本・文房四宝研究者の日野楠雄氏 配信期間は11月1日～3月31日を予定。</p>
<p>その他</p>	<p>かわさき市美術展懇談会を設置し、学識経験者から本市の文化振興上、より効果的な美術展とするための取組や、展示及び会場運営に関する意見を聴取しています。</p> <p>協賛：川崎信用金庫、セレサ川崎農業協同組合 後援：川崎市教育委員会、かわさきFM（79.1MHz）</p>

2 教育普及事業

(1) 完了した事業

【教育普及①】

事業名	すみであそぼう ～みずでえがく、すみのいろ～
会 期	令和4年5月5日（木・祝）
会 場	とどろきアリーナ 研修室1・2
コンセプト	<p>墨と紙（和紙）に触れることで、水墨という子供たちにはあまり馴染みのない分野を体験してもらうことを目的とするワークショップです。</p> <p>広い会場で身体を動かしながら自由にかたちを描いていくことで、参加者が表現の楽しさを体感し、美術（表現）への興味を深めてくれることを目標とします。</p> <p>【対象】小学生以下の児童および園児（保護者同伴）</p>
内 容	<p>【講師】荒井恵子さん（アーティスト、水墨画家）</p> <p>荒井さんから様々な墨や和紙、筆のお話を聞いた後、墨を使った表現にチャレンジしました。最初は水を使って和紙に好きなカタチを描き、さらに水で描いた和紙の上に、筆を使って墨をひく体験を通じ、水の乾き具合や墨の濃度、墨をひく速さ等で異なる墨の表情を感じ取ってもらいました。</p> <p>完成作品は写真を撮り、市民ミュージアムのウェブサイトで公開しております。</p> <p>https://www.kawasaki-museum.jp/blog/7580/</p>
関連事業	
その他	<p>開催報告（教育普及ブログ）</p> <p>https://www.kawasaki-museum.jp/blog/7580/</p>

自己評価	
<実施状況・成果>	
<p>【参加者数】43名（親子合わせた人数）</p> <ul style="list-style-type: none"> 参加者のうち約4分の3が中原区内在住の方でした。 コロナ禍で出かける機会が少ない中リフレッシュできたとの感想をいただきました。 指定管理から直営に移行し最初の事業であったため、広報調整等のプロセスを作り上げながらの実施となりました。 	
<課題・反省等>	
<ul style="list-style-type: none"> 被災前、館内で通年的に実施していたママカフェ等の事業を行えない状況の中、今後も幼児が気軽に参加できる事業を企画していく必要があると感じました。 	

<p><外部評価>意見（評価できる点や課題など） [A：十分に達成 B：概ね達成 C：達成に至らず]</p>	<h1>A</h1>
<ul style="list-style-type: none"> • 多くの人が参加し、楽しんでいたことから、事業目的を十分に達成したと感じる。 • ワークショップが市民ミュージアムのコンセプトや収蔵品とつながりを持ち、企画がストックされていくようにすると、さらに良い。 	



【教育普及②】

事業名	さわれるシネマ フィルムでアニメーションをつくってみよう
会 期	令和4年8月11日（木・祝）
会 場	川崎市生涯学習プラザ
コンセプト	<p>映像技術のデジタル化が進み、人々がフィルムや映写機を見て触れる場面がなくなっていることから、映画の原理や昔は映画がどのように映写されていたのか、フィルムとはどのようなものかについて伝えることを目的に、子ども向け及び大人向けの2種類のワークショップを実施するものです。</p> <p>併せて市民ミュージアム収蔵品のうち被災を免れたフィルム作品を上映することで、休館により活用機会が少ない収蔵品を市民に紹介する場とします。</p> <p>【対象】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学生4年生から中学生まで（ダイレクトペインティング） ・高校生以上（シネカリグラフ）
内 容	<p>【ワークショップ】</p> <p>文化学園大学造形学部の屋間行雄主任教授を講師に招き、次の2つの技法による制作体験を行うとともに、作品をその場で上映しました。</p> <p>(1) ダイレクトペインティング カラーペン等を用いて、フィルムに直接描画する技法。今回は小学4年生から中学生までを対象。</p> <p>(2) シネカリグラフ 色を付けた上から黒塗りしたフィルムを引っかき描画する技法。今回は高校生以上を対象。</p> <p>【映画上映】</p> <p>ノーマン・マクラレン作品[フィルム] 下記4作品（計25分） 『つかの間の組曲』（5分）、『色彩幻想』（8分） 『三角形のダンス』（5分）、『散歩する球』（7分）</p> <p>【受講料】</p> <p>(1) ダイレクトペインティング 500円 (2) シネカリグラフ 1,000円</p>
関連事業	
その他	<p>参加者の作品については、当日上映の他、DVDに録画して後日郵送しました。また、市民ミュージアムのYouTubeチャンネルでも作品を公開しております。</p> <p>開催報告（教育普及ブログ）動画もここから見ることができます https://www.kawasaki-museum.jp/blog/7627/</p>

自己評価
<実施状況・成果>
<p>【参加者数】 ダイレクトペインティング（小学4年生～中学生） 17名 シネカリグラフ（高校生～大人） 11名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フィルム映写機を初めて見た参加者も多く、自分の描いた作品がスクリーンに映されたり、他の参加者の作品を見ることができ非常に楽しかったとの御感想をいただきました。 ・ノーマン・マクラレン作品の上映についても、貴重な映画を見られてよかったとの御感想のほか、受講者は自分がミニ作品づくりを体験してから鑑賞したこともあり、どのように撮影したのか不思議な気持ちになったとの御感想をいただきました。
<課題・反省等>
<ul style="list-style-type: none"> ・小学生が市内各地から参加しやすいよう、保護者の送り迎えも考慮し夏休み期間の祝日に開催し、小中学生の申込は好調であった一方、高校生や大人を対象としたシネカリグラフの申込が少ない結果となりました。今回SNSやチラシ等による広報を行いました。大人に対する、より効果的な情報発信・拡散については今後の検討課題として残りました。

<外部評価>意見（評価できる点や課題など）	B
[A：十分に達成 B：概ね達成 C：達成に至らず]	
<ul style="list-style-type: none"> ・シネカリグラフの参加が低調であったが、ターゲット層の多くの人に届き、受講料以上の価値があると期待できる広報が必要である。 	



【教育普及③】

事業名	親子向け対話型鑑賞および創作活動「家族でつくるアート・メモリー」
会期	令和4年10月15日（土）
会場	ミュージア川崎シンフォニーホール 4階研修室1～3
コンセプト	<p>このワークショップは、美術館に足を運び芸術作品を鑑賞することがまだ難しく感じられる、小学校低学年までの子どもをもつ家族連れを対象に、芸術を身近に感じてもらうことを目的としています。会場のミュージア川崎の施設内及び周辺に設置されているアート作品を活用し、下記の4つの活動を行うものです。</p> <p>①家族で、言葉や身体を使って主体的に作品と関わることを通して、アート作品の魅力を味わう。</p> <p>②対象をよく見つけ、その特徴や意味を写真で表現しきることを探求することで、日常化・無意識化している写真を撮るという行為を再構築する。</p> <p>③作品鑑賞を通して家族のコミュニケーションを促進し、アートと家族の記憶を作る。</p> <p>④川崎市内のパブリックアート作品との関係創出によって、生活圏にあるアート作品との関わり合いや発見を持ち続ける。</p> <p>【対象】6歳から小学3年生までの子ども及び保護者 【企画協力団体】NPO法人 芸術資源開発機構（ARDA）</p>
内容	<p>①アイスブレイクとグループ分けー安心して参加できる場づくり</p> <p>②グループごとに3つの作品を体験しながら、おしゃべり鑑賞</p> <p>③最後にみた作品を写真撮影 家族ごとに作品の魅力をどう引き出すかを考え、撮影を行う。</p> <p>④写真を出力し、家族のメモリーづくり 撮影した写真の中から1枚を選び、その写真を出力する。出力した写真を台紙に貼り、その上に描いたり貼ったりすることで、作品の魅力をさらに視覚的に表現する。そして、楽しかった体験を家族で味わう。</p> <p>⑤家族ごとに作品発表 作品のどんなところに驚いたのか、感動したのか、それを表現するために制作で工夫したこと、家族でどのように協力しあったのか等を発表。</p>
関連事業	
その他	

自己評価
<p><実施状況・成果></p> <p>【参加者数】 61名（22組）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・募集段階では午前・午後各9組を予定しておりましたが、多くの申込（61組）があったため当選を各回11組に増やして開催しました。 ・参加者のほぼ全員が「これまで当館の展覧会を見たことがなく、イベント等の事業にも参加したことがない」とアンケートに回答しており、今回のワークショップが新たな利用者を開拓するきっかけとなりました。 ・これまで事前申込制のイベントでは、当館から当選通知メールを送信するだけの仕組みだったのを、当選者側からも出席する予定か否か返信していただく運用を試験導入しました。今回、当選した全組が実際に参加したことから、当選者の意識付けを促進し、予定を失念する等のトラブルを抑える効果があるものと考え、その後のイベントについても同様の運用を行っております。
<p><課題・反省等></p> <ul style="list-style-type: none"> ・今回は外部団体の協力により企画立案・運営を行いました。今後、館内の人材が企画を立て、ファシリテーションを行えるようスキルアップを図りたいと考えております。 ・作品を創るプロセスは子どもから大人まで皆楽しんでいる様子であった一方、パブリックアートを鑑賞する時間については飽きてしまう子も見受けられました。芸術鑑賞を体験してみる機会として企画したワークショップであることから予想された反応ではありますが、今後もさらに楽しめる企画を検討していきたいと考えております。

<p><外部評価>意見（評価できる点や課題など）</p> <p style="text-align: center;">[A：十分に達成 B：概ね達成 C：達成に至らず]</p>	A
<ul style="list-style-type: none"> ・募集定員を大きく上回る申込があったことは評価できる。 ・講師団体の得意分野をうまく引き出した企画だったと感じる。 	



(2) 開催中または今後開催予定の事業

【教育普及④】

事業名	市民ミュージアム講座（オンラインセミナー）
会 期	令和4年8月～令和5年3月の期間に5講座 （各講座の配信期間は、配信開始～3月31日）
会 場	オンライン配信
コンセプト	市民ミュージアムの所蔵品や学芸員の研究成果を発信していくため、学芸員が専門分野について分かりやすく解説する講座を動画配信します。 幅広い分野の専門的な知識を提供することにより、休館が続く当館がオンライン上で社会に貢献する場としていきます。
内 容	<オンラインセミナートップページ> https://www.kawasaki-museum.jp/event/26228/ 【漫画分野】 昔の漫画に詳しくなろう！「漫画の歴史は関東大震災が変えた!？」（講師：新美琢真学芸員）※8月19日から配信中 【歴史分野】 「新橋－横浜間鉄道開業と川崎」（講師：鈴木勇一郎学芸員） ※9月16日から配信中 【修復分野】 「入門！修復とは何なのか ー保存修復と光の関係」（講師：貝塚健学芸員）※10月7日から配信中 【歴史分野】 「お茶壺道中一件 ー「御茶」運搬中に川崎宿でいったい何が!? ー」（講師：菊地悠介学芸員）※11月4日から配信中 【映画分野】 「磁気テープの応急処置とデジタル化 ー川崎市市民ミュージアム実践編ー」（講師：村岡由佳子学芸員）※12月16日配信開始
関連事業	
その他	



【教育普及⑤】

事業名	史跡めぐり ー夢見ヶ崎 紅葉の道を歩くー
会 期	令和4年11月19日（土）、11月26日（土） ※いずれも同内容。 ※小雨決行。荒天の場合、翌日に順延。
会 場	幸区内（集合場所：新川崎駅改札外）
コンセプト	市内の史跡をめぐることを通じて地域の歴史を掘り下げ、地域の文化振興とふるさと川崎への帰属意識を醸成します。 また、当館の収蔵品を活用することによって、市民ミュージアムにも関心を高めるきっかけとします。
内 容	【講師】谷拓馬学芸員 <予定ルート> 新川崎駅 改札外→新鶴見機関区→無量院→深瀬家長屋門→小倉用水路碑→幸区日吉合同庁舎（見学・休憩）→南加瀬貝塚→了源寺と軽部五兵衛の墓→天照皇大神（夢見ヶ崎動物公園そば）
関連事業	
その他	

【教育普及⑥】

事業名	オンライン美術鑑賞ワークショップ「言葉で旅するアーカイブ ～目の見えない人と見える人が川崎の風景を語る～」
会 期	令和4年12月3日（土）、12月10日（土）
会 場	オンライン（Zoomを使用）
コンセプト	<p>指定管理者のもと運営していた令和元年度に予定したものの市民ミュージアムが被災したため中止となった「視覚障害者をつくる美術鑑賞ワークショップ」（視覚障害者と晴眼者がともに作品を鑑賞し、感じたことや気づいたことを話し合う鑑賞プログラム）を改めて実施します。ただし、新型コロナウイルス感染防止のためとして、オンラインで実施することとします。</p> <p>障がいの有無にかかわらず当館の収蔵品を鑑賞する場を設けることで、全ての人に開かれたミュージアムとなることを目指します。</p> <p>【対象】一般（障害の有無にかかわらず、どなたでも参加可）。小学生以下は大人とともに参加。</p>
内 容	<p>講師団体（視覚障害者をつくる美術鑑賞ワークショップ）に参画する視覚障害者とナビゲーターが、参加者とともにオンラインで昭和期にアマチュアカメラマンが撮影した川崎の風景写真を鑑賞する。目が見える人は、作品の様子を言葉で説明し、見えない人は質問や感想を投げかけることによって、鑑賞を深化させていく。</p>
関連事業	
その他	協力：視覚障害者をつくる美術鑑賞ワークショップ

【教育普及⑦】

事業名	社会科教育推進事業
会 期	令和4年6月～令和5年3月
会 場	申込のあった学校
コンセプト	市内の小学4年生を対象に、二ヶ領用水に関する体験学習や実物資料の見学を目的とした来館プログラム「社会科教育推進事業」を長年実施してきましたが、令和元年東日本台風の被害により市民ミュージアムの休館が続いているため、出張授業・資料貸出・教材送付の3種類の事業として実施しております。
内 容	出張授業：当館職員が学校に出向き、校内で授業を実施。 資料貸出：クワ、蛇籠（じゃかご）といった出張授業時に使用している資料の貸出。 ワークブック送付：当館で作成した、二ヶ領用水の歴史等をまとめた冊子を希望校に配布。 (参考) 令和3年度は出張授業46校、資料貸出9校、教材送付71校。
関連事業	
その他	

【教育普及⑧】

事業名	スクールプログラム
会 期	申込に応じて実施
会 場	申込のあった学校
コンセプト	学校対象事業が出張授業中心となることをふまえ、これまで実施してきたスクールプログラム（勾玉作り等）に加えて新たなプログラムを考案し、提供できる内容を増やすことで川崎市内の学校との連携をより深めることを目指します。 なお、授業は収蔵品に関連する内容を考案し、当館の収蔵品を活用する事業とします。
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・学校等の団体からの申込に応じて、学芸スタッフが出向いて各プログラムを実施します。 ・考古、映像、美術以外の分野においてもプログラムを実施できるようにするため、令和4年度は民俗・歴史・漫画・写真・絵画分野のうち1～2分野に関する内容を考案します。 ・これまで実施してきたスクールプログラム（勾玉作り等）の手順書を作成し、実施方法をスタッフ間で共有します。
関連事業	
その他	

3 資料等の調査、収集・受入、研究、修復に関する業務 【実施中】

(1) 調査、収集・受入

市民ミュージアム資料収集方針等に基づき、収集対象となる資料に関する情報を収集し、所有者等の譲渡又は寄贈等の意向の確認等、収集に関して必要となる事項について調査・折衝を行います。また、川崎市市民ミュージアム資料等収集懇談会において、専門家の意見聴取を経て、市が収集をするか否かを決定します。市が収集を決定した資料等については、受入れを行うとともに台帳へ登載します。

なお、令和4年度につきましては、11月4日（金）に写真部門についての懇談会を開催したところです。

(2) 研究

収集・収蔵した資料等について、展覧会や教育普及事業等を行うため、研究等を行います。

(3) 修復

資料等について、今後の展覧会や上映会で活用及び適切な保管のため、修復等を行います。

4 広報に関する業務 【実施中】

(1) 各種広報媒体の作成と活用

各種展覧会、上映会、教育普及事業等について、チラシの作成・配布、市民ミュージアムのホームページやSNS（Twitter、Facebook、Instagram）を通じた情報発信のほか、市政だより等の市広報媒体への掲載に向けた調整を行います。

(2) 市民ミュージアムホームページの管理運営

市民ミュージアムの独自のホームページを管理運営し、随時更新を行っております。

(3) メディアリレーション

新聞・テレビ等での報道を通じて多くの人に市民ミュージアムの活動を知り、展覧会やワークショップに足を運んだり、事業への理解を深めていただくため、事業ごとに報道発表資料を作成するとともに、取材対応や番組制作協力を行います。

(4) 川崎市市民ミュージアム年報及び紀要の作成

ア 年報

市民ミュージアムの事業実績のまとめとして年度ごとに作成している「川崎市市民ミュージアム年報」の令和4年度版を作成します。

イ 紀要

学芸員達の研究の成果を展覧会、教育普及、広報物を発行する際に活用できるよう紀要を作成します。

5 収蔵品の外部利用に関する業務 【実施中】

(1) 貸出し

市民ミュージアムに収蔵または、寄託を受けている収蔵品等について、他の博物館等から展覧会等のための貸出依頼があった場合に、貸出しを行います。

貸出しにあたっては、「川崎市市民ミュージアム資料貸出し要綱」の規定に基づき、収蔵品の保存状態や貸出先の環境条件等を勘案したうえで、申込者との調整、関係書類の準備及び収蔵品等の貸出し等を行う。著作権等権利関係の取扱いや貸出先の保存環境等について、事前に十分な確認をし、館外貸出の承認をしております。

(2) 特別利用

特別利用とは、市民ミュージアムに収蔵または、寄託を受けている収蔵品等について、熟覧、模写、模造、拓本、撮影、原版使用に供するものである。「川崎市市民ミュージアム観覧料及び特別利用等に関する要綱」の規定に基づき、申請の受付と承認の手続き、特別利用料の収納を行っています。

6 ミュージアムショップの運営に関する業務 【実施中】

川崎市市民ミュージアムが作成した刊行物等（図録、オリジナルグッズ等）をオンラインのミュージアムショップで販売しております。

なお、ショップの運営及び頒布代金の収納については、学芸業務受託者に委託しております。

7 危機管理に関する業務 【実施中】

市職員、学芸員及び施設管理業務スタッフが連携し、定期的に消防・防災訓練や風水害マニュアルに基づく情報付与訓練等の各種訓練を実施しております。

また、等々力緑地の浸水に対し、関係局が連携し、効果的な対応を図ることなどを目的に、等々力緑地の浸水対策に関する庁内連絡会議を設置し、浸水対策に関する情報共有や訓練の実施、市民ミュージアムへの浸水防除として、出水期には土のう等を設置するなど、事前対策を行っています。

令和4年度 市民ミュージアム事業費 予算

【支 出】

項 目	予算額
被災収蔵品修復関係経費 (修復委託、外部倉庫等)	420,940千円
学芸業務委託	324,644千円
施設管理業務委託(維持管理、警備等)	100,289千円
その他事務費等	28,824千円
合 計	874,697千円

<学芸業務委託の内訳>

展覧会・上映会経費	21,438千円
教育普及経費	2,330千円
広報関係経費	5,910千円
収蔵品レスキュー関係経費	78,023千円
物品・資料管理等経費	27,378千円
人件費その他	189,565千円

合 計	324,644千円
-----	-----------

【収 入】

項 目	予算額
財産収入(特別利用、自動販売機設置場所の貸付)	85千円
寄付金	102千円
諸収入(かわさき市美術展応募料、上映会入場料、 ワークショップ受講費、ミュージアムショップ等)	1,659千円
合 計	1,846千円

川崎市市民ミュージアム 収蔵品レスキューの状況について

川崎市市民ミュージアムは、令和元年東日本台風により、地階に設置された収蔵庫が浸水し、建物や設備のみならず、収蔵品にも大きな被害が発生しました。

定期的な報告として、令和4年4月30日現在の状況をお知らせいたします。

1 収蔵品レスキューのこれまでの経過について（下線：前回からの更新箇所）

(1) これまでに支援いただいた団体

文化遺産防災ネットワーク推進会議（10団体）	その他支援・協力団体（7団体）
独立行政法人国立文化財機構	神奈川県博物館協会
独立行政法人国立美術館	日本大学芸術学部写真学科
大学共同利用機関法人人間文化研究機構	東京大学史料編纂所
国立国会図書館	学校法人専門学校 東洋美術学校
公益財団法人日本博物館協会	学校法人帝京大学
公益社団法人日本図書館協会	神奈川地域資料保全ネットワーク
全国美術館会議	学校法人東海大学
全国歴史民俗系博物館協議会	
特定非営利活動法人 文化財保存支援機構（JCP）	
一般社団法人国宝修理装飾師連盟	

(2) レスキュー支援体制（レスキューに入った延べ人数）

- ・委託事業者（指定管理者含む）9,781人
- ・川崎市職員 1,539人
- ・外部支援団体 2,914人
- 合計 14,234人

2 収蔵品のレスキュー状況（令和4年4月30日現在）

分野	収蔵品 総数	収蔵品内訳		被災 収蔵品 総数 ※1	レスキュー状況		
		作品・アーカイブズ資料・図書	寄託品		修復済 ※2	修復中 ※3	処分
歴史	42,377	39,696	2,681	29,423	25	2	0
民俗	13,981	13,951	30	13,738	9	2	29
考古	72,072	72,053	19	71,678	11,295	0	0
美術文芸	18,120	18,107	13	9,004	1,378	863	0
グラフィック	11,037	11,037	0	11,012	113	13	1
写真	33,113	32,774	339	21,395	694	0	4,802
漫画	74,503	74,503	0	73,679	429	1,441	37,479
映画	13,301	12,808	493	13,301	1,033	501	0
映像	28,131	27,238	893	2,413	0	0	1,129
合計	306,635	302,167	4,468	245,643	14,976	2,822	43,440

※1 レスキュー作業の状況等により、収蔵品数が増減する場合がある。

※2 修復不要を含む。

※3 修復前準備中を含む。

3 収蔵品のレスキュー状況概要（令和4年4月30日現在）

（★：前回からの更新箇所）

【指定文化財】

現状	資料名等
修復済	★市重要歴史記念物[考古]「下原遺跡縄文時代後・晩期出土品」のうち41件 (写真1)
修復中	・市重要歴史記念物[歴史]「古筆手鑑（披香殿）」 ★市重要郷土資料[民俗]「大師河原の漁撈具」のうち2件
応急処置済	・市重要郷土資料[民俗]「獅子頭」1件 ・市重要郷土資料[民俗]「大師河原の漁撈具」のうち455件 ・市重要歴史記念物[考古]「細山坂東谷古墓出土火葬骨蔵器」 ★市重要歴史記念物[考古]「下原遺跡縄文時代後・晩期出土品」のうち2,489件

写真1 市重要歴史記念物[考古]「下原遺跡縄文時代後・晩期出土品（香炉形土器）」



被災前



修復前



修復後

【歴史】

現状	資料名等
修復済	★絵図「川崎駅全体之図（地番区分図）」など4件 ★絵巻「宿河原の風景」（写真2） ★古文書「京浜電鉄書簡集」など3件
修復中	・絵図「主上御東幸之節玉川船はしの図」
応急処置済	★紙資料 約430件 ・紙資料（古文書、浮世絵、瓦版、絵図など） 約150件 ・物資料（屏風、建築部材、電化製品など） 約500件
応急処置中	★紙資料 約650箱
冷凍保管中	・紙資料 約40箱 ・紙資料（古文書、絵図など） 約230件

写真2 絵巻「宿河原の風景」



被災前



修復前

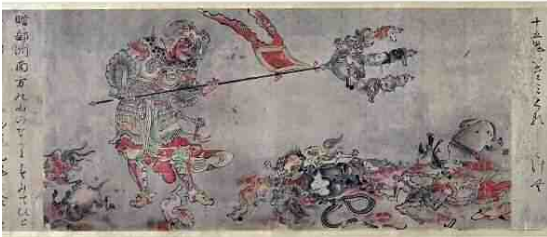


修復後

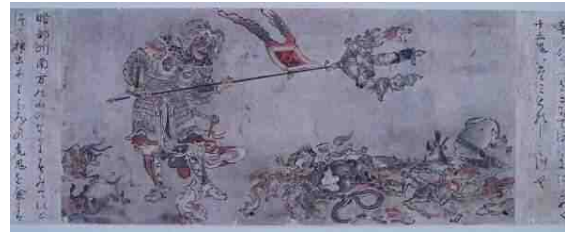
【民俗】

現状	資料名等
修復済	★絵巻「地獄双紙」など2件（写真3） ★絵馬「神馬」など5件
応急処置済	・紙資料（掛軸） 約 80件 ・物資料（民具など） 約 20,000件
冷凍保管中	・紙資料 約 80箱

写真3 絵巻「地獄双紙」



被災前



修復後



修復前

※被災前と撮影環境が異なるため、写真の色調に差があります。

【考古】

現状	資料名等
修復済 （修復不要を含む）	★「日向横穴墓群出土鉄刀」、「下作延福ノ円横穴墓出土直刀」、「平瀬川隧道際西横穴墓出土鉄刀」、「久本横穴墓群3号横穴墓出土鉄刀」など20件 ★市内採集（細山向原遺跡、末長遺跡、長尾鯉坂遺跡など）の縄文土器片・瓦片、石器など8,079件（修復不要）（写真4）
応急処置済	★洗浄乾燥済（2,852箱）
応急処置中	・順次、洗浄・乾燥（2,148箱）

写真4 長尾鯉坂遺跡出土資料（装飾突起の破片）



被災前



修復後（修復不要）

【美術文芸】

現状	資料名等
修復済	<ul style="list-style-type: none"> ★安田靉彦「草薙の剣」「佐久良」など 25 点 ★安田靉彦画稿など（「漸入佳境」「風来山人」など） 244 点 ★大矢紀「春彩」「活火風声」「神山」（加筆）「騰雲湧煙」（加筆） ★結城天童「孟宗竹」 ★まど・みちお 絵日記 150 点 ★渡辺豊重 「鬼になれなかった鬼その一」など 4 点 ★斎藤寿一版画「宙’ 74」、版画、スケッチ など 20 点（写真 5） ★田中岑「曼荼羅風 青」など 4 点 ★石渡風古「越後獅子」 ★岡信孝「大原の里」 ★棟方志功「長者女の柵」「日没の柵」 ★水島健「アレグリアス」 ★麻生三郎「男」（写真 6）
修復中	<ul style="list-style-type: none"> ・安田靉彦 「小鏡子」「神農」など 3 点 ・まど・みちお 絵日記 856 点 ★渡辺豊重「1982 年ピクニック」など 4 点
応急処置済	<ul style="list-style-type: none"> ・安田靉彦本画 1 点 ・大矢紀 24 点 ・石渡風古画稿 約 1000 点 ・結城天童作品、関連資料 約 20 点 ・佐藤惣之助、岡本かの子 約 30 点 ★市内作家 （渡辺豊重 約 50 点、田中岑 約 100 点 斎藤寿一 約 100 点、スケッチ 約 10 点、ほか現代作家約 50 点） ・関連作品、資料 （明治期版画 約 1300 点）
冷凍保管中	<ul style="list-style-type: none"> ・書籍、まど・みちお関連資料など 30 箱

写真 5 斎藤寿一「宙’74」



被災前



修復前



修復後

写真6 麻生三郎「男」



被災前



修復前



修復後

【グラフィック】

現状	資料名等
修復済	<ul style="list-style-type: none"> ★ロートレック「ドイツのバビロン」など7点（写真7） ★アール・ヌーヴォー ポスター（M・ドゥルゾール「ブロー製クーザン温泉水」など）65点 ★アール・デコ ポスター（ダニエル・ド・ロスク「青い服を着たミスタンゲット」） ★現代版画（ジェームス・ローゼンクイスト「F-111南」など）3点 ★プロパガンダポスター（アルベール・ベスナール「勝利と平和のために第3次国防公債に応募しよう」） ★デザイン書（「フランスにおける紙の技術と産業」など）18点 ★日本の現代ポスター（永井一正「I' M HERE」など）2点
修復中	<ul style="list-style-type: none"> ★ロートレック「ムーラン・ルージュのラ・グーリュ」など5点 ・アール・ヌーヴォー ポスター（シェレ「エミール・ゾラの小説『大地』」など）4点 ・アール・デコ ポスター（レオン・アストラランヌ「パンプローナのサン・フェルミン祭」など）3点 ・現代版画（デイヴィッド・ホックニー「ストラヴィンスキーのポスター」）
応急処置済	<ul style="list-style-type: none"> ・アール・ヌーヴォー ポスター 135点 ・アール・デコ ポスター 284点 ・現代版画 401点 ・プロパガンダポスター 136点 ・日本の現代ポスターなど 1819点 ・オリンピックポスター、外国ポスターなど 885点 ・マガジンカバー 681点
応急処置中	<ul style="list-style-type: none"> ★ポスターなど 約6,000点
冷凍保管中	<ul style="list-style-type: none"> ・外国ポスターなど 21箱

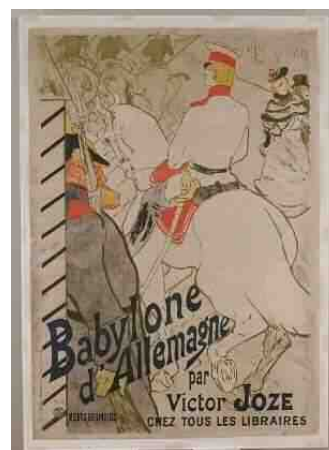
写真7 ロートレック「ドイツのバビロン」



被災前



修復前



修復後

【写 真】

現状	資料名等
修復済	<ul style="list-style-type: none"> ★19世紀写真（フィリップ・ポトー「遣欧使節団」など）174点（写真8） ★20世紀写真（物故作家）（ウォーカー・エヴァンズ「モーガンタウン近くの鉦夫の家 ウェスト・ヴァージニア州」など）10点 ★木村伊兵衛写真賞受賞作品（渡辺兼人「既視の街」など）148点 ★20世紀写真（存命作家）（松本徳彦「マンセル・マルソー」など）25点
応急処置済	<ul style="list-style-type: none"> ★19世紀写真 199点 ・木村伊兵衛写真賞受賞作品 359点 ★グラフ雑誌、写真帖 18点 ・カメラ機材 10件
冷凍保管中	<ul style="list-style-type: none"> ・19世紀写真、20世紀写真など 36箱 ・写真帖、雑誌、書籍など 100箱

写真8 19世紀写真（フィリップ・ポトー「遣欧使節団」）



被災前



修復前



修復後

※被災前と撮影環境が異なるため、写真の色調に差があります。

【漫 画】

現状	資料名等
修復済	★漫画原画（宍戸左行「スピード太郎」、清水崑「こんこんキツネ」、楠勝平「おせん」、横山裕一「ニュー土木」など）425点（写真9） ★油彩画（ビゴー「京都のビゴー」、横山隆一「春（元タイトル「ピエロ）」」など）4点
修復中	★漫画原画（岡本一平「無題（諷刺画）」など）1,441点
応急処置済	・漫画原画 549点 ・油彩画など 70点 ・浮世絵 100点 ・軸 50点 ・漫画雑誌など 261点
応急処置中	★漫画原画、漫画雑誌など 1,744点 ★亜鉛版 1件
冷凍保管中	・原画、漫画雑誌、書籍など 約280箱

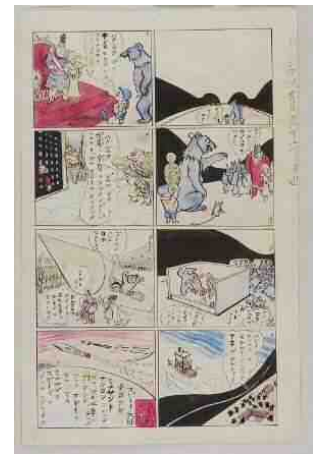
写真9 宍戸左行「スピード太郎」



被災前



修復前



修復後

※被災前と撮影環境が異なるため、写真の色調に差があります。

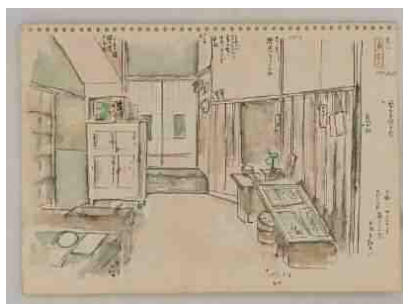
【映 画】

現状	資料名等
修復済 (修復不要を含む)	★秋元憲「セレベス 海軍報道班員の報告」、森弘太「河 あの裏切りが重く」2点 ★神奈川ニュースなど 35点（修復不要） ★ノーマン・マクラレン「色彩幻想」など 6点（修復不要） ★久保一雄スケッチ 495点（写真10）
修復中	★久保一雄スケッチ 500点 ・6mm 音声資料 1点
応急処置済	・今井正「どっこい生きてる」など 1,942点 ・井手雅人関連資料 493点 ★久保一雄関連資料 4,355点 ★神代辰巳関連資料 89点 ★小川プロ関連資料 2,036点 ・独立プロ映画関連資料（ポスター） 33点
冷凍保管中	・映画監督、脚本関連資料など 24箱

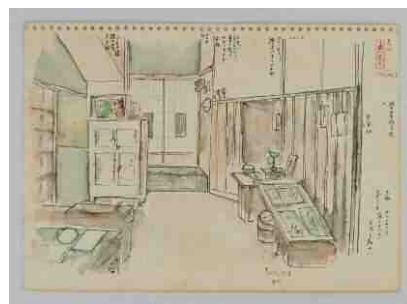
写真10 久保一雄 スケッチ（「真昼の暗黒」セットデザイン画）



被災前



修復前



修復後

【映像】

現状	資料名等
応急処置済	・日本映像カルチャーセンター関連作品など 277 点
冷凍保管中	・実相寺昭雄関連脚本など 12 箱

【借用】

現状	資料名等
修復済	★犬塚勉展作品（油彩画・スケッチ） 59 点
修復中	・犬塚勉展作品（油彩画・スケッチ） 5 点

川崎市文化芸術振興会議規則（平成17年9月15日規則第99号）

最終改正:平成28年3月31日規則第13号

改正内容:平成28年3月31日規則第13号 [平成28年4月1日]

（趣旨）

第1条 この規則は、川崎市文化芸術振興条例（平成17年川崎市条例第8号）第9条第6項の規定に基づき、川崎市文化芸術振興会議（以下「振興会議」という。）の組織及び運営に関し必要な事項を定めるものとする。

（委員）

第2条 市民のうちから委嘱される委員は、公募によるものとする。

（会長及び副会長）

第3条 振興会議に会長及び副会長各1人を置き、委員の互選により定める。

2 会長は、会務を総理し、振興会議を代表する。

3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるときは、その職務を代理する。

（会議）

第4条 振興会議は会長が招集し、会長はその会議の議長となる。

2 振興会議は、委員及び議事に関係のある臨時委員の半数以上が出席しなければ、会議を開くことができない。

3 振興会議の議事は、出席した委員及び議事に関係のある臨時委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

（関係者の出席）

第5条 振興会議は、その調査審議に必要があると認めるときは、関係者の出席を求め、その説明又は意見を聴くことができる。

（部会）

第6条 振興会議は、必要に応じ部会を置くことができる。

2 部会に属すべき委員及び臨時委員は、会長が指名する。

3 部会に部会長1人を置き、部会に属する委員及び臨時委員の互選により定める。

4 部会長は、部会の事務を掌理し、部会の審議の経過及び結果を振興会議に報告するものとする。

5 部会の会議については、前2条の規定を準用する。

（庶務）

第7条 振興会議の庶務は、市民文化局において処理する。

（委任）

第8条 この規則に定めるもののほか、議事の手続その他振興会議の運営に関し必要な事項は、会長が振興会議に諮って定める。

附 則

この規則は、平成17年10月1日から施行する。

附 則（平成20年3月31日規則第16号抄）

この規則は、平成20年4月1日から施行する。

附 則（平成28年3月31日規則第13号）

この規則は、平成28年4月1日から施行する。

川崎市文化芸術振興会議市民ミュージアム部会設置要綱

(趣旨)

第1条 この要綱は、川崎市文化芸術振興会議規則（平成17年9月15日規則第99号。以下「規則」という。）第6条に基づき設置する川崎市文化芸術振興会議市民ミュージアム部会（以下「市民ミュージアム部会」という。）について、川崎市文化芸術振興条例（平成17年3月24日条例第8号。以下「条例」という。）及び規則に定めるもののほか、必要な事項を定めるものとする。

(所掌事務)

第2条 市民ミュージアム部会の所掌事務は、次のとおりとする。

- (1) 川崎市市民ミュージアムの事業評価に関すること
- (2) その他川崎市市民ミュージアムの円滑な運営に関すること

(組織等)

第3条 市民ミュージアム部会は、川崎市文化芸術振興会議（以下「振興会議」という。）の会長から指名された振興会議委員及び臨時委員によって構成する。

2 市民ミュージアム部会員の任期は、振興会議委員と同一とする。

3 任期の途中で部会員に欠員が出た場合は、振興会議会長が補欠の委員を指名するものとし、補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(庶務)

第4条 市民ミュージアム部会の庶務は、市民文化局川崎市市民ミュージアムにおいて処理する。

(その他)

第5条 この要綱に定めるもののほか、市民ミュージアム部会の運営に必要な事項は、部会長が部会に諮って定める。

附 則

この要綱は、令和4年10月1日から施行する。